

2026年2月5日

各 位

東京都渋谷区神宮前三丁目 28 番1号
株式会社ユナイテッドアローズ
代表取締役 社長執行役員
松崎 善則
(コード番号: 7606 東証プライム)
問合わせ先
I R 部 部長 三井 俊治
電 話 番 号 03-6804-5706

持株会社体制への移行の検討開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株主総会の承認が得られることを前提として、持株会社体制への移行について検討を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 検討の背景と目的

2023年5月、当社は2032年(2033年3月期)を目標とする長期ビジョン「美しい会社 ユナイテッドアローズ、真善美を追求し続けることでサステナブルな社会の実現に貢献し、お客様に愛され続ける高付加価値提供グループになる」を発表しました。長期ビジョン達成時において、当社は高感度・高付加価値ライフスタイル提供グループでありたいと考えています。これは創業来掲げている日本の生活文化のスタンダードの創造であり、日本において高感度な生活をするために当社が欠かせない存在であることです。そのためにはファッションを軸にした既存ドメインでの成長拡大に加え、アパレル以外の領域への進出も検討・実施し、業容と顧客層の拡大が不可欠です。持株会社化によって事業の多角化とM&Aを進め、長期ビジョン達成の強固な基盤を築きます。

持株会社化により、具体的に以下の効果を期待しています：

・M&Aを含む多角化の推進

新ブランドの展開や非アパレル領域への進出を、M&Aを含め柔軟に実行できる体制を整えます。

・グループ経営の高度化

持株会社が個別事業の業績管理を行うことで、成長事業にリソースを集中させ、最適な事業構造を構築します。

・ガバナンスの強化

持株会社によるグループ戦略の策定、子会社による個別事業の執行を分離させ、グループ全体を踏まえた最適な事業戦略を立案、実行します。

・子会社経営の自立性の向上

子会社の権限を明確化させ、個別事業の特性にあわせた柔軟な対応をとることで、経営スピードの向上、経営人材の育成を図ります。

2. 持株会社体制への移行の予定時期および方法

今後、株主総会の承認および必要な所定の手続きが得られることを前提として、2026年10月を目途に持株会社体制へ移行することについて検討を進めます。なお、持株会社体制への移行に関する日程や方法等の詳細については、決定次第、改めてお知らせいたします。

以上